

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

| 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (3月7日実施) | 総合評価(3月15日実施) | |
|--------------------------|---|---|---|---|---|---|---|--|---|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 1 教育課程 学習指導 | 一人ひとりの確かな学びを支えるための教育課程を編成し、教育目標の実現に向け、各教科等の指導を関連付けながら魅力ある授業を展開する。 | ①一人ひとりの確かな学びを支えるために授業内容表、単元整理表の作成を進め、系統的な教育課程を整備し、教育活動の充実を図る。 ②地域に貢献する教育活動を教育課程に位置付け、地域資源の活用と開発を意識した計画と実践を進める。 | ①年間指導計画を作成するにあたり、授業内容表、単元整理表を意識し、教科等の系統的な指導につながることに留意する。 ②地域に貢献する教育活動を教育課程に位置付け、地域資源の活用や教育活動の実践を進める。 | ①授業内容表及び単元整理表の整備と連動し、系統的な指導につながることに留意して、年間指導計画を作成することができたか。 ②地域に貢献する教育活動を教育課程に位置付け、実践することができたか。 | ①職員アンケートで肯定的70% ②職員アンケートで肯定的78% | ①引続き取組む必要がある。 ②地域に貢献する教育活動はできたが、教育課程への位置づけについては、取組む必要がある。 | ①引続き取組む必要がある。 ②地域に貢献する教育活動はできたが、教育課程への位置づけについては、取組む必要がある。 | ①授業内容を表にまとめつつあるが、共有及び活用には至っていない。 ②地域に貢献する教育活動はできたが、教育課程への位置づけについては、取組む必要がある。 | ①校内研究のテーマとして取り上げ取組んでいく。 ②校内研究のテーマとして取り上げ取組んでいく。 |
| 2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援 | 個別教育計画作成・運用システムを構築し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図る。 | ① 児童・生徒一人ひとりに応じた指導を行うために実態の捉え方や重点目標の設定について共通理解を図る。 ②個別教育計画作成スケジュール、書式等の見直しに取り組み、運用システムの再構築を図る。 | ①児童・生徒一人ひとりの実態の捉え方について共通理解を図るために専門職の活用、アセスメントについての研修の機会を設け、実践する等の対応を行う。 ②アセスメントの結果等児童・生徒個々の実態を踏まえ、一人ひとりの教育的ニーズに応じた個別教育計画作成に向けた書式、スケジュール等の検討を進める。 | ①児童・生徒一人ひとりの実態把握や重点目標の設定を専門職の活用、アセスメントの実施等多角的に行うことができたか。 ②児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた個別教育計画作成に向けた整備を進めることができたか。 | ①職員アンケートで肯定的78% ②職員アンケートで肯定的86% | ①研修会を行ない抽出してアセスメントを実施した。次年度は、対象児童生徒を広げていく予定である。 ②個別教育計画の様式を変更することができた。必要に応じて見直しをする必要がある。 | ①研修会を行ない抽出してアセスメントを実施した。次年度は、対象児童生徒を広げていく予定である。 ②個別教育計画の様式を変更することができた。必要に応じて見直しをする必要がある。 | ①研修会を行ない抽出してアセスメントを実施した。次年度は、対象児童生徒を広げていく予定である。また、結果についても実態把握に反映させていく予定である。 ②個別教育計画の様式を変更することができた。必要に応じて見直しをする必要がある。 | ①研修会を行ない抽出してアセスメントを実施した。次年度は、対象児童生徒を広げていく予定である。また、結果についても実態把握に反映させていく予定である。 ②個別教育計画の様式を変更することができた。必要に応じて見直しをする必要がある。 |
| 3 進路指導・支援 | 地域との連携を築き、児童生徒が地域で豊かに暮らし働くことにつながる指導・支援を展開する。 | ①児童・生徒の自立と社会参加に向けて、キャリア教育の推進を進める。 ②学部間のつながりを踏まえ、地域資源を取り入れた学習の充実を図る。 | ①-1 児童・生徒一人ひとりのキャリアプランを検討する等キャリア教育の充実を図る。 ①-2 地域関係機関との連携を強化し、進路支援を進めていく。 ②移行支援を意識した中学部、高等部の作業のねらいや目的を検討し、学部間のつながりを構築し、地域資源の活用を実践する。 | ①-1 児童・生徒一人ひとりのキャリア教育を推進することができたか。 ①-2 関係機関との連携を強化し、進路支援を進めることができたか。 ②学部間のつながりを構築し、地域との連携について検討し、実践を進めることができたか。 | ①-1 職員アンケートで肯定的85% ①-2 職員アンケートで肯定的66% ②職員アンケートで肯定的60% | ①-1 研修会は実施したが、一人ひとりのキャリアプランの検討には至っていない。 ①-2 引続き取組んでいく必要がある。 ②地域との連携には取組んでいる。中高等部の作業の連携、活動内容の検討が必要である。 | ①-1 研修会は実施したが、一人ひとりのキャリアプランの検討には至っていない。 ①-2 関係機関との連携強化に取組んでいる。引続き取組んでいく必要がある。 ②地域との連携には取組んでいる。中高等部の作業の連携、活動内容の検討が必要である。 | ①-1 研修会は実施し考えるきっかけにはなっているが、一人ひとりのキャリアプランの検討には至っていない。 ①-2 関係機関との連携強化に取組んでいる。引続き取組んでいく必要がある。 ②地域との連携には取組んでいる。中高等部の作業の連携、活動内容の検討が必要である。 | ①-1 小学部から中学部、中学部から高等部に進学する際に、進路指導の授業を取り入れる。 ①-2 引続き取組んでいく必要がある。 ②校内研究のテーマとして取り上げ取組んでいく。 |
| 4 地域等との協働 | 共生社会の実現に向け、地域が積極的に学校運営に参画し、学校で、地域で「ともに学び、ともに楽しみ、 | ①学校運営協議会、各部会、地域学校協働本部の活動を通して、地域の方が学校づくりに参画する仕組み | ①-1 学校運営協議会や各部会での協議が学校運営に反映できるようにする仕組みづくり ①-2 学校運営協議会、各部 | ①-1 学校運営協議会や各部会で協議されたことが、職員に周知され、学校運営に反映される仕組みを整備することができたか。 ①-2 学校運営協議会や各部 | ①-1 職員アンケートで肯定的71% ①-2 職員アンケ | ①-1 学校運営に反映される仕組みはできたが、職員に十分に周知されていない。 ①-2 位置づけが整備 | ①-1 学校運営に反映される仕組みはできたが、職員に十分に周知されていない。 ①-2 位置づけが整備 | ①-1 学校運営に反映される仕組みはできたが、職員に十分に周知されていない。 ①-2 位置づけが整備され、 | ①-1 学校運営協議会の位置づけを職員に説明をしていく。 ①-2 学校運営協議会や各部 |

| 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (3月7日実施) | 総合評価(3月15日実施) | | |
|----|---------------------|---|---|--|---|---|---|--|---|---|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 | |
| | ともに喜ぶ」教育活動を創造・展開する。 | <p>づくりを推進、整備する。</p> <p>②本校としての地域におけるセンター的機能を学校全体で推進する。</p> <p>③地域が参画した教育活動の充実を図る。</p> | <p>会、地域学校協働本部の位置づけを更に整備して、学校づくりへの関わりを明確にする。</p> <p>②本校におけるセンター的機能についての理解を深め、地域関係機関や教員間での連携を図り、居住地交流や学校間交流等全教職員が交流及び共同学習を担う取り組みを進める。</p> <p>③-1 あおば支援学校を活用したあおばフェスタ、スポーツフェスタ等の行事、スポーツ文化プログラム、施設開放を整備し、活動を充実させる。</p> <p>③-2 外部人材の活用を図り、通学支援や学習活動の充実を図る。</p> | <p>会、地域学校協働本部の位置づけを整備し、学校づくりへの参画についての道筋を作ることができたか。</p> <p>②本校におけるセンター的機能を推進することができたか。居住地交流や学校間交流等全教職員が交流及び共同学習を担う取り組みを進めることができたか。</p> <p>③-1 あおばフェスタ、スポーツフェスタ等地域が参画した教育活動を整備することができたか。</p> <p>③-2 外部人材の活用を図り、通学支援や学習活動の充実を図ることができたか。</p> | <p>一トで肯定的74%</p> <p>②センター的機能について職員アンケートで肯定的73%</p> <p>居住地交流等肯定的83%</p> <p>③-1 職員アンケートで肯定的88%</p> <p>③-2 職員アンケートで肯定的85%</p> | <p>され、参画への道筋はできているが、職員に十分周知されていない。</p> <p>②チーム員以外にも、ケース会ができるよう引続き推進していく。居住地交流については、流れをチャート化する。</p> <p>③-1 引続き検討する必要がある。</p> <p>③-2 通学支援員利用の基準を整える必要がある。</p> | <p>され、参画への道筋はできているが、職員に十分周知されていない。</p> <p>②センター的機能は推進されている。また、居住地交流、学校間交流等実施できている。</p> <p>③-1 引続き検討する必要がある。</p> <p>③-2 外部人材の活用はできている。</p> | <p>参画への道筋はできているが、職員に十分周知されていない。</p> <p>②センター的機能は推進されている。また、居住地交流、学校間交流等実施できている。学校全体でセンター的機能に取り組んでいる自覚を持つ必要がある。</p> <p>③-1 地域が参画する教育活動を充実させることはできている。スポーツフェスタについては、保護者の参加を考える必要がある。</p> <p>③-2 外部人材の活用はできている。通学支援員利用の基準を整える必要がある。</p> | <p>会、地域学校協働本部の位置づけを職員に説明をしていく。</p> <p>②チーム員以外でも、ケース会ができるよう引続き推進していく</p> <p>③-1 スポーツフェスタについては、保護者の参加の仕方を考え、実施する。</p> <p>③-2 自力通学に向けた取組みに機会を捉えて学校、保護者間で話し合う。</p> | |
| 5 | 学校管理 学校運営 | <p>児童生徒、保護者、教職員、地域と誰もが安全・安心で、使いやすく整った教育環境の充実を図る。</p> <p>② 職場環境づくりの整備を推進する。</p> | <p>①児童・生徒が安全に安心して過ごすことのできる教育環境を整備する。</p> <p>② 職場環境づくりの整備を推進する。</p> | <p>①-1 学校運営要項や各種マニュアルについての職員の共通理解を図り、活用を図るとともに適宜改善を行う。</p> <p>①-2 歯磨きや給食指導は、安全な活動ができるよう環境整備を行う。また、年間を通じて感染症対応が定着するよう、日頃から教職員、児童生徒、保護者の感染症への意識を高めるような取組みを行う。</p> <p>①-3 災害時の体制を整備し、定期的に見直すことで不測の事態に備えるとともに、児童・生徒等が安心して学校で過ごすことができる環境を整える。</p> <p>②-1 業務分担表を基に、教職員が行わなければならない仕事を整理し、業務アシスタントや業務サポーターの活用を促進し、教職員一人ひとりの業務軽減に努める。</p> <p>②-2 職員研修等を通して、教職員間の同僚性醸成に繋げ、連携強化を図る。</p> | <p>①-1 学校運営要項や各種マニュアルの活用及び改善を行うことができたか。</p> <p>①-2 歯磨きや給食指導は、安全な活動ができるよう環境整備を行うことができたか。また、年間を通じて感染症対応が定着するよう、日頃から教職員、児童生徒、保護者の感染症への意識を高めるような取組みを行うことができたか。</p> <p>①-3 災害時の体制を整備し、定期的に見直すことで不測の事態に備えるとともに、児童・生徒等が安心して学校で過ごすことができる環境を整えることができたか。</p> <p>②-1 業務分担表を基に、教職員が行わなければならない仕事を整理し、業務アシスタントや業務サポーターの活用を促進し、教職員一人ひとりの業務軽減に努めることができたか。</p> <p>②-2 教職員の同僚性を高め、職場環境の整備を進めることができたか。</p> | <p>①-1 職員アンケートで肯定的63%</p> <p>①-2 職員アンケートで肯定的90%</p> <p>①-3 職員アンケートで肯定的91%</p> <p>②-1 職員アンケートで肯定的76%</p> <p>②-2 職員アンケートで肯定的77%</p> | <p>①-1 マニュアルの改善は行っているが、活用や周知が十分できていない。</p> <p>①-2 引続き基本的な感染対策を周知していく。</p> <p>①-3 引続き訓練等を実施しながら、改善を図る必要がある。</p> <p>②-1 業務軽減するために学部、グループのデータを整理する必要がある。</p> <p>②-2 引続き取組む必要がある。</p> | <p>①-1 マニュアルの改善は行っているが、活用や周知が十分できていない。</p> <p>①-2 歯磨きや給食指導は、安全な活動ができるよう環境整備を行っている。</p> <p>①-3 引続き訓練等を実施しながら、改善を図る必要がある。</p> <p>②-1 業務軽減するために学部、グループのデータを整理する必要がある。</p> <p>②-2 引続き取組む必要がある。</p> | <p>①-1 マニュアルの改善は行っているが、活用や周知が十分できていない。</p> <p>①-2 引続き基本的な感染対策を周知していく。</p> <p>①-3 引続き訓練等を実施しながら、改善を図る必要がある。</p> <p>②-1 業務軽減するために学部、グループのデータを整理する必要がある。</p> <p>②-2 引続き取組む必要がある。</p> | <p>①-1 校内のデータを整理し、使いやすいようにする。</p> <p>①-2 引続き基本的な感染対策を周知していく。</p> <p>①-3 引続き訓練等を実施しながら、改善を図っていく。</p> <p>②-1 校内のデータを整理し、使いやすいようにする。</p> <p>②-2 引続き研修会を実施していく。</p> |